

IPEVO
EXPERIENCE OVER IP

ユーザーマニュアル

アイピーボ ディスプレイ付WEBフォン



www.ipevo.jp

1.はじめに	2
2.インストール	3
3.オーディオの設定	5
4.ユーザーインターフェイス	6
5.操作手順	9
6.FAQ およびトラブルシューティング	13
7.保証およびカスタマーサービス	16



警告

この表示事項を守らなかった場合、使用者が死亡、または重症を負う危険があります。

- 本製品の内部を開けないでください。
- 本製品の内部に異物を入れないでください。
- 本製品の内部やケーブル、コネクタ類にお子様の手が届かないように機器を配置してください。
- 煙や臭いなど、本製品の異常を感じたら、すぐにパソコン及び周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



注意

以下の注意事項を守らないと、使用者がケガをしたり、物的損害が発生する危険性があります。

- ときどき柔らかい布で乾拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり、外装ムラになることがありますから絶対に使用しないでください。また、スプレー式の殺虫剤、芳香剤、消臭剤などもかからないよう注意してください。
- 本製品を落下させたり強い衝撃を与えたりしないでください。内部を損傷するおそれがあります。
- 本製品を直射日光に当たる場所や極端に寒い場所、また、湿気の多い場所や水に濡れる場所に置かないでください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

1. はじめに

1. はじめに

この度は、アイピーボ ディスプレイ付WEBフォンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ここでは、これまで以上に簡単で楽しいSkypeの使い方を紹介します。インストール中のトラブルを最小限にするため、以下に記述する「パッケージ内容」と「システム要件」をお確かめください。これにより、万が一問題が発生した場合でも、円滑かつ効率的に解決できます。

本マニュアルはインストール中によくある問題についてのヒントや注意を記載しています。また、それ以外の問題や不明な点がありましたら、最寄りの代理店またはカスタマーサービス窓口までお気軽にお問い合わせください。

パッケージ内容

- ・アイピーボ ディスプレイ付WEBフォン
- ・専用スタンド
- ・以下を含んだソフトウェア インストール CD:
 - ドライバ
 - freeREC ソフトウェア
 - ユーザーマニュアル (PDFファイル)
- ・クイックスタートガイド
- ・保証書

システム要件

- ・ Microsoft Windows XP、Windows Vista 32ビット版、またはMac OSX 10.4 以上
- ・ 400Mhz Pentium® II 以上の IBM® 互換 PC(128MB RAM および 50MB ハードディスク空き容量)
- ・ Skype バージョン3.0以上
- ・ ブロードバンドインターネット接続
- ・ USBポート
- ・ CD-ROM ドライブ

2. インストール

2. インストール

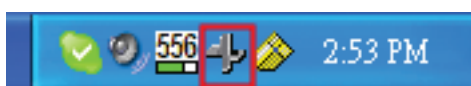
本機FR-33.2はSkypeと同時に使用するよう設計されています。Skypeのインストールは、本機FR-33.2のインストールを行う前に完了しておく必要があります。また、本機FR-33.2を使って通話するには、Skypeを実行し、アカウントにログインしている必要があります。

1. ソフトウェア インストールCDをCD-ROMドライブに挿入します。次のセットアップウィンドウが表示され、インストールプロセスが開始します。



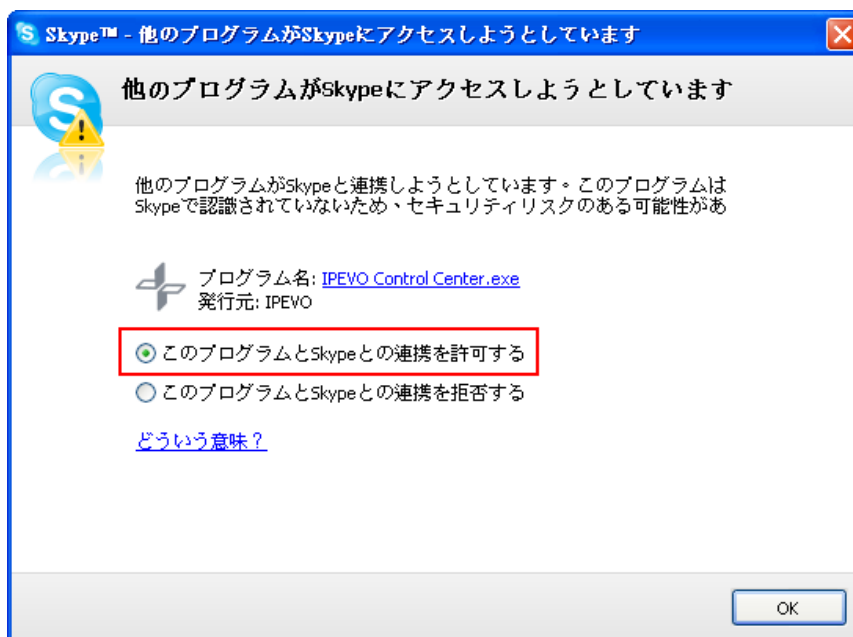
注意: この段階でインストールプロセスが自動的に開始していない場合、CD-ROMドライブの **[IPEVO.exe]** アイコンをダブルクリックしてプロセスを手動で開始してください。

2. コンピュータにSkypeソフトウェアがまだインストールされていない場合、**[Skypeをインストールする]**をクリックして、インストールします。また、最新バージョンの Skype を <http://www.skype.com/download/> からダウンロードすることもできます。
3. **[FR-33.2 ドライバをインストールする]**をクリックし、画面上の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
4. インストールプログラムによって、インストールを続行する前に本機FR-33.2を差し込むように指示が表示されます。
本機デバイスを接続したら、**[次へ]** をクリックして残りのインストール手順を続行します。
5. インストールが完了したら、指示に従って**IPEVOコントロールセンター**をデスクトップ上のショートカット (または [スタート] メニューから) 起動し、本機FR-33.2の環境設定を行います。(詳細は「オーディオの設定」を参照してください)。IPEVOコントロールセンターの実行中、システムトレイにアイコンが表示されます。これで、本機FR-33.2をコンピュータに差し込むたびにプログラムが自動的に起動するようになります。



2. ソフトウェアのインストール

6. Skypeを起動してアカウントにログインします。初めてIPEVOコントロールセンターをSkypeと同時に実行するとき、以下の通知が表示されます。[このプログラムと Skype の連携を許可する] を選択します。



7. SkypeIDが本機FR-33.2のLCD 画面に表示されたら、本機FR-33.2の使用準備は完了です。



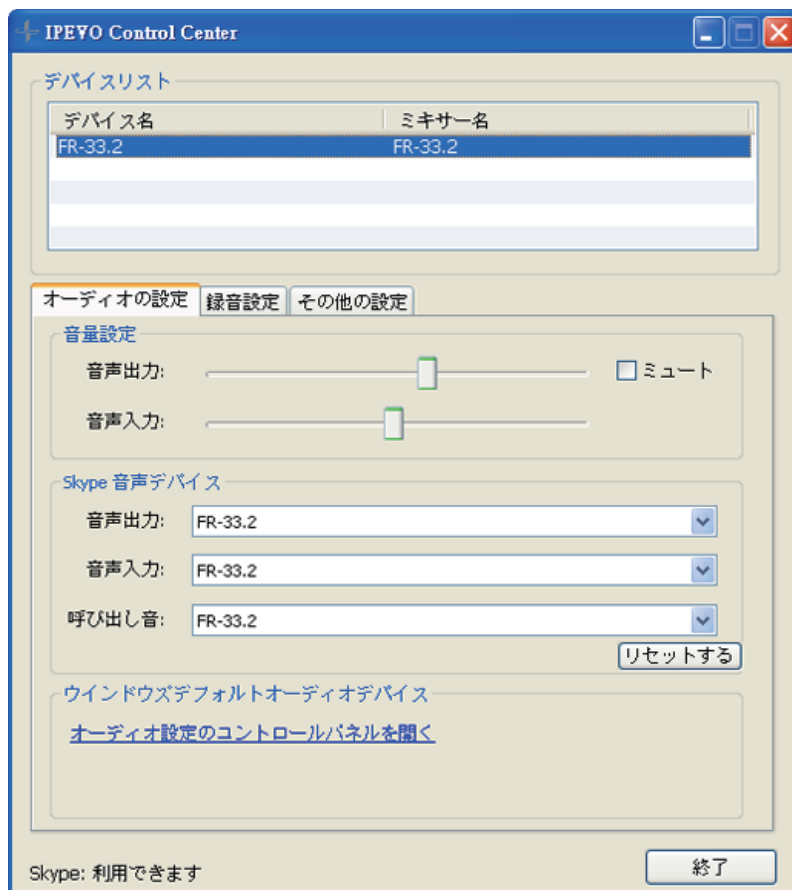
注意: 本機FR-33.2で通話発信する前に、**Skype**がコンピュータ上で実行中で、アカウントにログインした状態であることを確認してください。本機FR-33.2は**Skype**と同時に使用するためにデザインされているので、**Skype**なしでは動作しません。

3. ハードウェア設定

3. ハードウェア設定

IPEVOコントロールセンターを使用すると、本機FR-33.2 の環境設定 (音声、言語など)が行えます。

1. コンピュータおよびハンドセットのオーディオ設定を正しく設定するには、まずシステムトレイの  アイコンをダブルクリックし、IPEVO コントロールセンターを開きます。



注意: IPEVOコントロールセンターが実行していない場合、[スタート] メニューの [すべてのプログラム]—[IPEVO]にある[IPEVO Control Center]アイコンをクリックすることによって、手動で起動できます。

2. [オーディオの設定]タブで、[Skype 音声デバイス]パネル内の[音声入力]の値として、ドロップダウンリストから[FR-33.2]を選択します。[音声出力]の値として、ドロップダウンリストから[FR-33.2]を選択します。
3. 他の環境設定も、IPEVOコントロールセンターの対応するオプションタブから、またはシステムトレイのアイコンからカスタマイズできます。

ヒント: 本機FR-33.2とコンピュータのスピーカの両方を同時に使用するには、[ウィンドウズデフォルトサウンドデバイス] パネルにあるリンクをクリックし、コンピュータのサウンドカードを選択してください。

4. ユーザーインターフェイス

4. ユーザーインターフェイス

4.1 ハンドセットのレイアウト



4. ユーザーインターフェイス

- (1) **スピーカー:** 音声出力
- (2) **LCD画面**
- (3) **ミュート:** マイクのオン/オフを切り替えます。
- (4) **右ソフトボタン:** このボタン上部のLCD画面に表示されているオプションを選択または確定します。ボタンの機能は状況により変化します。
- (5) **ジョグキー:** Skypeコンタクトリストを表示します。また、画面上のリストから項目を選択するためにも使用します。
- (6) **「終了/No」ボタン:** 現行の通話を終了したり、1つ前の操作をキャンセルします。
- (7) **「LIST」ボタン:** 異なる状態のSkypeコンタクトリストを順に表示します。
- (8) **マイク:** 音声入力
- (9) **音量ボタン:** 音量レベルを調整します。
- (10) **左ソフトボタン:** このボタン上部のLCD画面に表示されているオプションを選択または確定します。ボタンの機能は状況により変化します。
- (11) **「RECORD」ボタン:** freeRecソフトウェアを起動します(「**操作手順**」の「**通話の録音**」を参照)。
- (12) **「発信/Yes」ボタン:** 着信通話に応答したり、通話を発信します。
- (13) **「INTL」ボタン:** SkypeOut通話を行います。
- (14) **[ACTIVATE] ボタン:** SkypeをPCのモニタに表示し、ユーザーによる入力および操作ができるようにします。LCD画面には「**PC Mode**」と表示されます。PC Mode中に「ACTIVATE」ボタンを押すと[Skype]ウィンドウの各タブが順に開きます。
- (15) **0~9, *, # ボタン:** 通常のハンドセットと同様です。

4. ユーザーインターフェイス

4.2 LCD 画面のレイアウト



- (1) 通話タイマー
- (2) SkypeID
- (3) リダイヤル表示 (過去 15 件)
- (4)  新着ボイスメッセージ通知
- (5)  着信通話アラートのシンボル
( が表示されている場合は、アラートがオフになっていることを示します)
- (6) メニュー

Skypeコンタクトの状態が次のシンボルで表示されます。

本機FR-33.2とSkype状態の対称表

FR-33.2	Skype	状態
		オンライン
		Skype Me!™
		一時退席中
		取り込み中
		退席中
		オフライン

5. 操作手順

5. 操作手順

SkypeとIPEVOコントロールセンターの準備が整ったら、コンピュータでの操作なしにハンドセットで通話を行うことができます。「発信/Yes」または「終了/No」ボタンを押すことによって着信通話に応答または拒否できます。

5.1 通話の発信方法

本機FR-33.2では、Skypeコンタクトリストのユーザーはもちろん、固定電話番号または携帯番号にも通話を発信できます(SkypeOut)。以下の表で、2種類の通話方法の通話料金とコンタクト条件を示します。

Skype を使用した 2 種類の通話方法

通話の種類	通話料金	コンタクト条件
Skype 同士	無料	両者ともを使用していなければならない
SkypeOut	地域によって料金が異なる	受信者がオンラインでないか、Skypeを使用していない

5.1.1 Skype 同士の通話発信:



Skypeコンタクトリストを開きます。
(ジョグキーを押します。)

コンタクトのリストをスクロールします。
(ジョグキーを上下に動かします。)

表示されたSkypeIDに通話を発信します。
(「発信/Yes」ボタンを押します。)

話し終わったら、通話を終了します。(「終了/No」ボタンを押します。)

ヒント: 本機FR-33.2の数字キーを使用して、コンタクトをアルファベットによって見つけることができます。発信相手のSkypeコンタクト名の1文字目に該当する番号を押します。繰り返し押すと、その番号キーで利用できる文字が順に表示されます。

5. 操作手順

5.1.2 SkypeOut 通話の発信:

固定電話または携帯電話にSkypeOut通話を発信できます。SkypeOut通話を発信するには、「INTL」ボタンを押してから番号をダイヤルするか、SkypeOutコンタクトリストを開いて保存済みの番号を検索します。

直接番号をダイヤルする方法



次に



「INTL」ボタンを押します。

電話番号または携帯番号をダイヤルします。
(番号キーを使用)

保存済みの番号を選択する方法



次に



ヒント: コンタクトリストを1項目ずつ上下にスクロールするには、ジョグキーを1回ずつ押します。長いリストを速くスクロールするには、キーを押したままにします。また、番号キーを使ってコンタクトをアルファベットによって見つけることもできます。

5.1.3 最近通話したコンタクトへの発信 (リダイヤル発信)



メインメニューから「発信済」を選択します。
(右ソフトボタンを押します。)



次に



1つ前にダイヤルした番号に発信(「発信/Yes」ボタンを押します。)

過去にダイヤルしたコンタクトをスクロールします。
選択したコンタクトに発信します。
(「発信/Yes」ボタンを押します。)

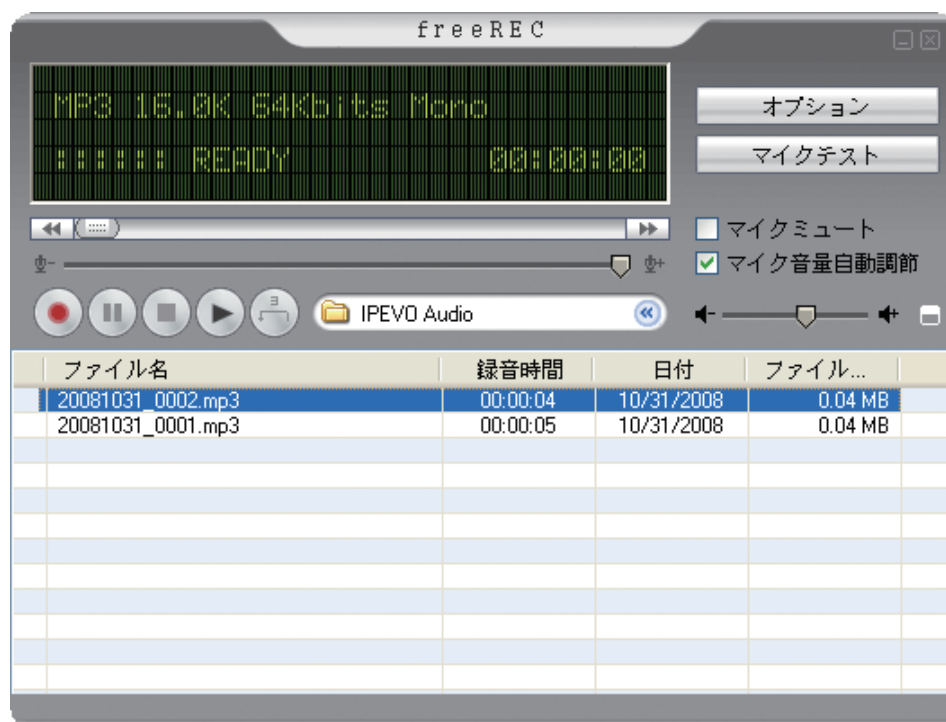
5. 操作手順

5.2 通話の録音

freeRECは、ボイスおよびSkype通話を簡単に録音してPCに保存できる、無料ソフトウェアです。音声ファイルはWave(.wav)形式で保存されます。

5.2.1 freeREC の設定

1. 本機FR-33.2の「RECORD」ボタンを押し、freeRECを起動します。freeRECは、IPEVOコントロールセンターの「録音設定」タブにある「freeRecを開く」ボタンをクリックすることによっても起動できます。
2. メイン画面の「オプション」ボタンをクリックすることによって「オプション」ウィンドウを開きます。
3. 必要に応じて設定を変更します。
4. また、フォルダ名が表示されている場所の隣にある青い矢印をクリックすると、音声ファイルの保存場所を変更できます。



5. 操作手順

5.2.2 音声の録音

freeRECを使用して通話を録音するには、本機FR-33.2がコンピュータに接続され、IPEVOコントロールセンターが実行されていることを確認してください。

freeRECの録音機能のいくつかは、本機FR-33.2からもアクセスできます。

- ・「RECORD/Pause」ボタン  は、freeREC を起動します。
- ・左または右ソフトキー  は、録音状況に応じた機能を提供します。

音声の録音:

操作	FR-33.2(ソフトキーテキスト)	freeRECのボタン
録音開始	左ソフトキー (REC)	
録音一時停止	左 ソ フ ト キ ー (Pause)	
録音再開	左ソフトキー (Resume)	
録音停止	右ソフトキー (Stop)	

録音の一時停止および再開は、**freeREC(PC側)**または本機**FR-33.2**を使用していつでも行えます。これは、録音中に通話の一部 (余談など)を省くのに役立ちます。

メモ: 録音の一時停止中に停止ボタンを押すと、録音が終了し、音声ファイルとして保存されます。

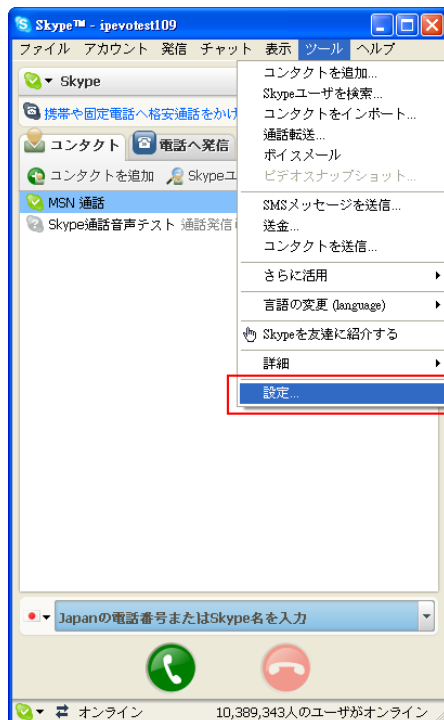
6. FAQ およびトラブルシューティング

6. FAQ およびトラブルシューティング

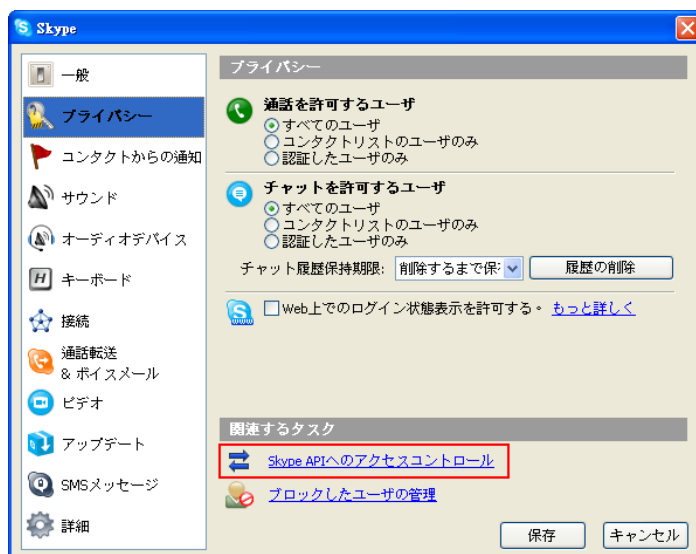
誤って[このプログラムと Skype の連携を拒否する]を選択してしまいました。
この設定を変更する方法は？

本機FR-33.2をコンピュータに接続したときに[このプログラムとSkypeの連携を拒否する]を選択した場合、本機FR-33.2のボタンおよび通話機能は動作しません。Skypeでこの設定を変更するには:

1. Skypeを起動します。[ツール]メニューを開き、[設定]を選択します。



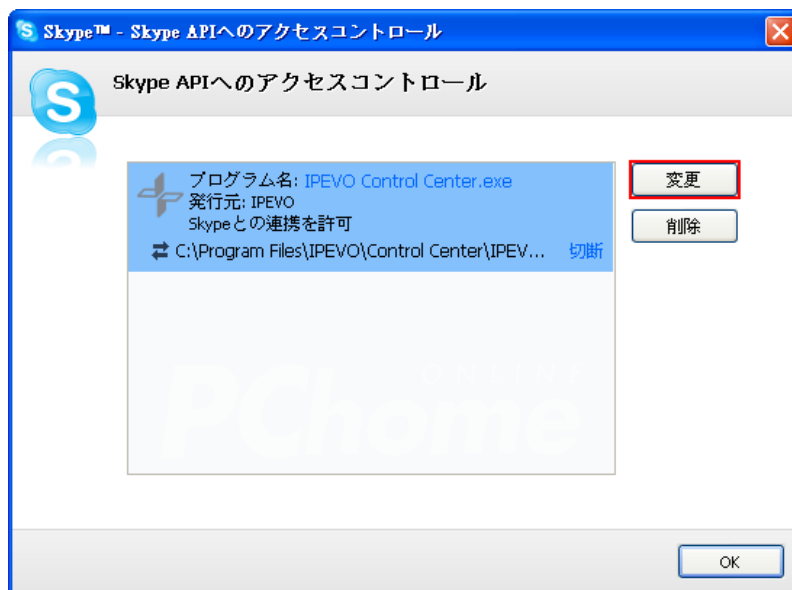
2. 左側のメニューから[プライバシー]パネルを選択し、[関連するタスク]セクションにあるリンク[SkypeAPIへのアクセスコントロール]をクリックします。



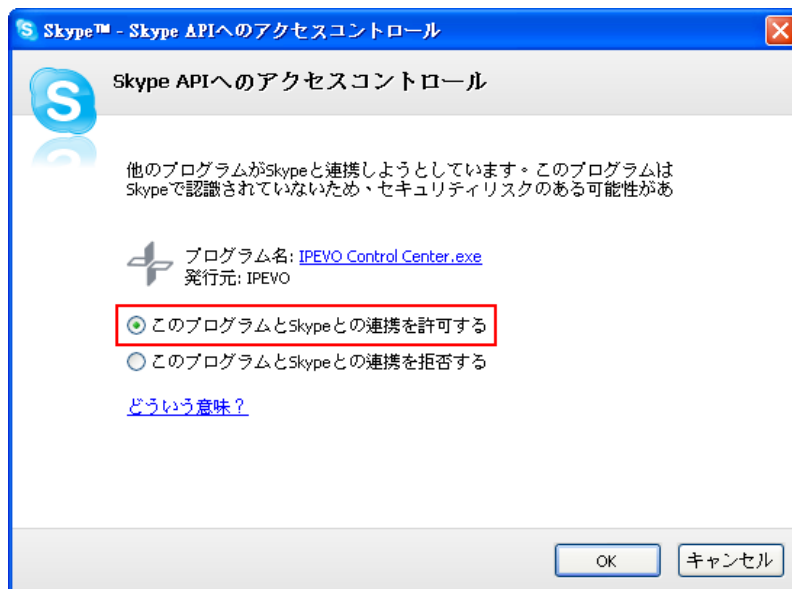
メモ: 新しいバージョンのSkypeでは、このオプションは[プライバシー]パネルではなく、[詳細]パネルにある場合があります。

6. FAQ およびトラブルシューティング

3. [SkypeAPIへのアクセスコントロール]ウィンドウで「IPEVO Control Center.exe」を選択し、[変更]をクリックします。



4. IPEVO Control Center.exeに対するオプションの一覧から、[このプログラムと Skypeの連携を許可する]を選択し、[OK]をクリックします。[設定]ウィンドウを閉じるときは、[保存]ボタンをクリックすることにより設定を保存してください。



6. FAQ およびトラブルシューティング

本機FR-33.2でSkypeボタンを押しても何も起こりません。

ドライバは、「IPEVO コントロールセンター」としてシステムトレイ上で自動バックグラウンドサービスを実行します。[IPEVO コントロールセンター] アイコンがシステムトレイに表示されていない場合、[スタート] > [すべてのプログラム] > [IPEVO] を選択して [IPEVO Control Center]をクリックし、手動で起動してください。

本機FR-33.2で通話を発信しても、相手側に自分の声が聞こえません。

IPEVO コントロールセンターの[オーディオの設定]タブを開いてください。[Skype 音声デバイス]パネルの下で、[音声入力]の値が[FR-33.2]になっていることを確認してください。また、[音量設定]パネルの[音声入力]スライダを調節し、さらに[ミュート]ボックスがオフになっていることを確認してください。

本機FR-33.2をコンピュータに接続しましたが、外部スピーカから音が出ません。

IPEVO コントロールセンターの[オーディオの設定]タブを開いてください。[ウィンドウズデフォルトオーディオデバイス]で、[オーディオ設定のコントロールパネルを開く]リンクをクリックし、コンピュータのスピーカを選択してから[OK]をクリックします。

本機FR-33.2をコンピュータに接続しましたが、スピーカからの音はありますが、本機FR-33.2からはありません。

IPEVO コントロールセンターの[サウンドデバイス]タブを開いてください。[Skype 音声デバイス]パネルで、[音声出力]の値が[FR-33.2]になっていることを確認し、[OK]をクリックしてください。

7. 保証およびカスタマーサービス

7. 保証およびカスタマーサービス

保証規定

1. 保証期間内に正常な使用状態で使用された場合に限り品質保証しております。万一保証期間内で故障がありましたら、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2. 次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。
 - a. 保証書をご提示されない場合
 - b. 所定の項目をご記入されない場合
 - c. 故障原因がお客様による取り扱い上の不注意である場合
 - d. お客様や運送会社による輸送・移動中の衝撃による場合
 - e. 天変地異、および公害や異常電圧その他の外部要因による故障や損傷
3. お客様ご自身による改造、または修理があったと弊社が判断した場合は、保証期間内での修理そのものをお受けいたしかねます。
4. 原因を問わず、本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害については、弊社はそのいかなる責（データ損失、パソコン破損を含む）を負わないものとします。
5. 修理で依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。着払いはお受けいたしかねます。
6. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

7. 保証およびカスタマーサービス

カスタマーサービス

【輸入元】 (株)来夢
513-0825 三重県鈴鹿市住吉町5769-9
Email: cs@ipevo.jp
Tel: 050-5809-7370
<http://www.ipevo.jp>

Customer Service (International)
IPEVO corp
Email: service@ipevo.com
Tel: +886-2-5550-8686
<http://www.ipevo.com>

Copyright© 2008 IPEVO Inc. All rights reserved



GO! <http://www.ipevo.jp>